

【平成30年度富山高校100周年記念館5月・6月展示】

富山高校 133年のあゆみ

本校は旧制富山中学開校から133年目の、県下で最も古い歴史を誇っている。

当時から県立であったが、県からのトップダウン方式で開校をしたのではない。当時尋常小学校を卒業した生徒達が、更に高い教養を求めて、県知事（当時は県令とって、国から派遣されていた）に上級学校の開設を陳情したのが始まりなのである。つまりボトムアップの形で開設されたのだ。

現在も「学びたき者集う」学校ということになっているが、開学の歴史を見ればその理由は歴然だ。

その後現在地への移転、新制高等学校への移行、昭和46年の火災、創立100周年等の節目を経て今日に至っている。

記念館5・6月展示ではその流れを知ってもらうための展示を行う。富高生ならこのくらいは是非知っておいて欲しいと思い企画した。 (富山高校 図書部)

展示内容

- ・旧制富山中学の写真
- ・富山中学時代の卒業証書（卒業證書）
- ・昭和50年撮影の全校生徒？
- ・100周年記念館の建築前の模型

など

